

公益社団法人日本地球惑星科学連合
2020 年度第5回理事会議事録

1. 開催日時 2021 年 2 月 1 日(月)

2. 開催場所 Zoom によるオンライン会議

3. 出席者 理事数 20 名
出席理事 20 名 (定足数 11 名 会議成立)

4. 議長 理事 田近 英一

5. 出席役員

理事 田近 英一
理事 川幡 穂高
理事 ウォリス サイモン
理事 小口 千明
理事 高橋 幸弘
理事 道林 克禎
理事 日比谷 紀之
理事 河宮 未知生
理事 浜野 洋三
理事 阿部 なつ江
理事 沖 大幹
理事 奥村 晃史
理事 掛川 武
理事 木村 学
理事 橘 省吾
理事 中村 昭子
理事 西 弘嗣
理事 成瀬 元
理事 村山 泰啓
理事 吉田 尚弘
監事 加藤 照之
監事 鈴木 善和

6. 出席オブザーバー

宇宙惑星科学セクションプレジデント	倉本 圭
大気水圏科学セクションプレジデント	谷口 真人
大気水圏科学セクションバイスプレジデント	佐藤 薫
大気水圏科学セクションバイスプレジデント	東塚 知己
地球人間圏科学セクションプレジデント	鈴木 康弘
固体地球科学セクションプレジデント	田中 聡
固体地球科学セクションバイスプレジデント/プログラム委員長	片山 郁夫
地球生命科学セクションバイスプレジデント	磯崎 行雄
地球生命科学セクションバイスプレジデント	小林 憲正
学協会長会議議長	渡辺 俊樹
大会運営委員長	和田 浩二
ダイバーシティ推進委員会委員長	坂野井 和代
事務局長	末廣 潔

午前 13 時 00 分、定数に達したので田近英一会長が開会を宣した。インターネット会議システム Zoom を利用し、参加者全員が審議に参加できることを確認した。

7. 審議事項

第 1 号議案 新入会員承認の件

定款第 8 条 2 項の会員の入会の定めに従い、新規入会者の入会を審議した。これを承認した。

第 2 号議案 新規委員承認の件

各委員会からの案に基づき、委員就任を審議した。推薦の通り承認した。

第 3 号議案 日本学術会議公開シンポジウム「地質災害研究の最先端と社会実装への取り組み」共催承認の件

申請に基づき、日本学術会議公開シンポジウム「地質災害研究の最先端と社会実装への取り組み」への共催を検討した。申請の通り承認した。

第 4 号議案 法人運営基本規則一部改正の件

法人運営基本規則 16 条に第 2 項を追加することを審議した。これを承認した。また、理事会内申し合わせ「タスクフォース設置について」を承認した。

第 5 号議案 SDGs タスクフォース設置の件

SDGs タスクフォースメンバーについて報告があった。本タスクフォースの設置は前回理事会で承認済みであり、またメンバーは理事会承認事項ではないので、審議事項としては取り下げる。

第 6 号議案 フェロー審査委員会規則改訂の件

フェロー審査委員会規則第 5 条を「委員の任期は2年とし、1年毎に原則半数程度を改選する。」と改訂すること、また「2 欠員の補充により選任された委員の任期は、前任者の残任期間とする。」を追記することを審議し、承認した。また、今回選任された委員についてもさかのぼって適用する。

第 7 号議案 フェロー承認の件

審査委員会からの推薦に基づき、2021 年度フェロー候補者を審議した。推薦の通り、フェローとして承認した。

第 8 号議案 特定費用準備資金設置の件

特定費用準備資金の設置を審議した。特定費用準備資金の設置と、それにとまなう公益社団法人 日本地球惑星科学連合 40 周年記念事業特定費用準備資金取扱規則が承認された。また令和元年度の積み立て額は 480 万円とする。

第 9 号議案 会計処理規則に記載のある責任者の任命の件

会計処理規則の中で明記している「会計責任者、出納責任者、物品管理責任者、固定資産管理者」を明確に規定することを審議した。案の通り (1) 会計責任者を財務委員長、(2) 出納責任者を事務局長、(3) 物品管理責任者を財務委員長、(4) 固定資産管理者を財務委員長として承認した。

第 10 号議案 特別寄附申込受け入れの件

特別寄附の申し込み受け入れについて審議した。提案のあった 3 件を承認した。

第 11 号議案 招待講演承認の件

「日本地球惑星科学連合大会における招待講演者の扱いに関するガイドライン」を審議した。今年はこの指針として用いることを承認した。ただし、「連合主催セッション」の定義など、パブリックセッションやユニオンセッションの再検討が必要であるため、ガイドライン自体は継続審議とした。

また、2021 年大会 U-01「地球惑星科学コミュニティと日本学術会議」への招待講演者として、梶田隆章氏、岸輝雄氏、小池俊雄氏の 3 名の投稿料および参加登録料の免除を審議した。これを承認した。

U-11「Diversity and equality」への招待講演者として Susan Lozier 氏 (AGU 新会長)、Vicki

McConnell 氏 (GSA Executive Director)、Helen M. Glaves 氏 (EGU 新会長) の投稿料および参加登録料の免除を審議した。AGU や EGU などとの取り決めがないため、今回については個別の審議に基づいて承認されたという趣旨を招待状に記載することで、恒常的な措置ではないことを明確にしたうえで承認するという事になった。

第 12 号議案 2021 年連合大会保育補助に関するガイドライン承認の件

2021 年大会での措置として、「日本地球惑星科学連合大会時の保育支援にかかるガイドライン」について審議した。これを承認した。

また、ダイバーシティ推進委員会では入力フォームなどの Google のサービスを利用する機会があるので、連合として G Suite を契約するなどの検討をしてほしいとのリクエストがあった。今後の検討課題とした。

第 13 号議案 防災学術連携体の一般社団法人化の件

連合が加盟する防災学術連携体の一般社団法人化することを承認してよいか、連合としての意見を審議した。一般社団法人化に関しては連合として承認する。ただし定款や団体組織については明確でない部分があるので、意見がある方は奥村委員長に集約し、準備会で代表して質問、提案することとした。

3. 報告事項

1. 田近 英一代表理事職務報告

第 5 号審議事項にてタスクフォースに関する規則およびガイドラインを設置した。一方、より機動力が必要なミッションの場合は迅速な活動ができるよう、理事会承認を必要としないワーキンググループとして立ち上げ、活動を行う。具体的には、著作権規則に関するワーキンググループ(掛川主査)および賛助会員制度に関するワーキンググループ(高橋主査)を立ちあげる。どちらも今後メンバーを募り、活動を開始する。

2. 川幡 穂高理事(ジャーナル担当)職務報告

Geoethics タスクフォースの活動報告書が提示された。今後は各タスクフォースの活動書をホームページに掲載する。

ジャーナル関連の活動報告があった。順調に編集・出版を行っている。また、現在 PEPS の賞である Most cited Paper を賞金付きの Prize とすることを検討している。

3. ウォリス理事(グローバル戦略担当)職務報告

グローバル戦略委員会の活動報告があった。前期とはメンバーが大勢入れ替わり、女性や若手の委員も選任して活動している。委員会で、JpGU 大会は国際会議であるかということについて

検討を行った。従来、国際会議であるということは表明しているが、やや曖昧な部分があるため、ホームページなどで明確に表示したほうがよいという議論があった。反対意見、賛成意見があればウォリス理事まで連絡してほしいとの依頼があった。

4. 小口 千明理事(ダイバーシティ担当)職務報告

ダイバーシティ委員会活動報告があった。連合大会において、ダイバーシティを考慮しているセッションをロゴ使用によって表現する「見える化」の活動について報告があった。学生、任期付き研究者等を含む「Career Challenger」という用語が提案された。JpGUにおけるダイバーシティを考慮しているセッションを示すロゴとして数案が提案された。

Zoom への入り口となるセッション画像に用いるという案が示されたが、今回は Confit のタイムテーブルが入口となるため、技術的に可能か検討することとなった。

坂野井委員長から活動報告があった。連合大会中にもキャリア支援の企画があるが、大会期間以外にも常時キャリア支援の活動を企画中であり、試験的に相談会を行う。

5. 高橋 幸弘理事(SDGs 担当)職務報告

SDGs ワーキンググループの設置準備について報告があった。

6. 道林 克禎理事(大会展示担当)職務報告

展示に関する準備状況について報告があった。2月15日募集開始を目標として準備を進めている。2020年大会と同等のシステムで準備している。Zoomで1チャンネルを展示チャンネルとして確保し様々な企画を計画したい。出席者の皆様にも是非展示募集にご協力いただきたい旨依頼があった。

7. 日比谷 紀之理事(総務担当)職務報告

総務委員会の活動報告があった。前回理事会以降に承認した後援等を報告した。また共同利用・共同研究拠点の認定についての要望書発行の依頼を多数受けており、随時対応している。国際物理オリンピック 2023 日本大会への協力要請があったことが報告され、協力内容について検討した。検討の結果、(1)広報・修津活動への協力、(2)会員による支援の促進について協力することとなった。

8. 河宮 未知生理事(財務担当)職務報告

2020年度決算予想および2021年度予算についての準備状況について報告があった。

9. 浜野 洋三理事(大会運営担当)職務報告

和田委員長より、大会準備状況について報告があった。大会準備スケジュール、収支見通し、参加登録料の設定、現地開催の準備、口頭講演スケジュール、学生優秀発表賞の検討、そのほ

かのイベント企画案について報告があった。

現在は投稿受付期間中であり、例年に比べ投稿件数の伸びが鈍いので、周知に協力してほしいとの依頼があった。

投稿時に現地発表の希望を尋ねているため、その結果が現地開催の有無の判断に用いる。また会場のキャンセル料が1か月前で増えるので、それまでには判断を行う。

10. 顕彰委員会活動報告(中村担当理事)

顕彰委員会の活動報告があった。

フェローの要件として(1)地球惑星科学研究領域におけるパラダイムシフトやブレイクスルーもしくは発見などを中心に、地球惑星科学の学術の発展に著しい貢献をした者、(2)日本の地球惑星科学の発展、あるいは地球惑星科学の知識普及に著しい貢献した者、という2項目が挙げられているが、今後は1の要件での選出が中心となるのではとの議論があることについて報告があった。ダイバーシティ推進に対応するため、要件(2)を完全になくすことはしないでほしいとの意見があった。またオープンサイエンスに見られるような、学問の枠組みにおける業績についても評価できるように検討してほしいとの意見があった。こうした意見を尊重し、今後賞を新設する際なども含めて、広く検討課題とすることとなった。

またフェローの割合が全会員の1%となっているが、これを再考してはどうかという議論がある旨、報告があった。

西田賞審査についてダイバーシティの観点から子育てや介護等の事情に配慮することについて検討している旨報告があった。

11. 教育検討委員会活動報告(阿部担当理事)

教育検討委員会の活動報告があった。

- ・日本学術会議人材育成分科会にオブザーバー参加した。今期も連携して活動する。
- ・国際教育対応小委員会では、例年に引きつづき、Earth Science Week を AGI と協力して開催した。
- ・パブリックセッションならびにユニオンセッションを提案し、準備を進めている。
- ・教員免許担当チームでは教員免許状更新講習を開催した。講習の開設や講師としての参加を募集している旨報告があった。

12. 広報普及委員会活動報告(橘担当理事)

広報普及委員会の活動報告があった。オンサイトでトップセミナー、高校生セッションの開催を準備している。JGL 17号の編集を進めている。昨年30周年記念出版「地球・惑星・生命」が順調に販売されている。

13. 情報システム委員会活動報告(村山担当理事)

情報システム委員会の活動があった。SNS での情報公開をおこなっている。

議長は以上をもって、すべての議事を終了した旨を述べ、閉会を宣した。(午後 5 時 30 分)

以上の議事の要領及び結果を明確にするため、本議事録を作成し、出席理事は次に記名・押印する。(捺印欄配布時省略)

2020 年 2 月 1 日

公益社団法人日本地球惑星科学連合 第5回理事会

出席理事	田近	英一	印
出席理事	川幡	穂高	印
出席理事	ウォリス	サイモン	印
出席理事	小口	千明	印
出席理事	道林	克禎	印
出席理事	高橋	幸弘	印
出席理事	日比谷	紀之	印
出席理事	河宮	未知生	印
出席理事	阿部	なつ江	印
出席理事	沖	大幹	印
出席理事	奥村	晃史	印
出席理事	掛川	武	印
出席理事	浜野	洋三	印

出席理事	木村	学	印
出席理事	橘	省吾	印
出席理事	中村	昭子	印
出席理事	西	弘嗣	印
出席理事	村山	泰啓	印
出席理事	吉田	尚弘	印
出席監事	加藤	照之	印
出席監事	鈴木	善和	印